



郷土史

ていね

第 65 号

平成 25 年 5 月 8 日
手稲郷土史研究会会報

定期総会・懇親会開催

● 定期総会

4 月 17 日には、定期総会と懇親会が行われました。

総会は、茂内義雄会長の挨拶のあと、平成 24 年度の事業報告、収支決算報告、平成 25 年度の事業計画、収支予算などの案件について審議され、可決されました。

審議された事項の詳細については、「定期総会議案書」をご覧ください。

議事に先立ちまして、特別功労、ものしり博士の表彰が行われ、次の方々に賞状が授与されました。(敬称略)

特別功労賞：水落恒彦、澤本富延、平木重男、吉田寛義

ものしり博士：後藤崇和、村元健治、谷川一弥

茂内義雄会長挨拶



平成も 25 年、一区切りという年度になりました。私どものこの会も、手稲区内外の皆様になんげ頼りにされるようになってきたような気がしまして、嬉しく思っております。

私は、先月の例会で皆さんに泣き言を伝えたような気がします。と言いますのは、2 月に降って沸いたような前田農場の東宮駐輦記念碑が捨て去られるような状態に陥りました。大変な驚きをもってその知らせに接し、それに対処すべく多くの方々と奔走いたしました。

結論を申しますと、幸いなことに昨日の段階で、手稲区役所の方で公費をもって移設・建立していただけたところまで話が進みました。そこまでの経緯はいろいろありますが、ここでは、お知らせに留めておきます。ただ、次のことだけ、お話させていただきます。

区役所の方に書類を出す関係でかなりの方々にご協力いただきました。その中で、一番大きなポイントは、かつての前田農場での所有物であったものを、前田家からお譲りいただき私どもの財産とすることのお許しをいただくことでしたが、その件の手筈は整いました。もう一点は不動産関係の売買に関してです。これも正式な文書をいただけるということになりました。昨日までに、これらの書類を取り揃えて区役所へ要望する段階までにはなっております。このあとは、然る場所に建立されることでしょう。

建立に関わる資金に関しては、みなさまのご厚意に頼るばかりです。今後の具体的な活動のひとつとして、寄付集めの行脚に動き回らなければならないこともあろうかと思われまふ。その節は皆様のお力添えをお願いいたします。

前田家には、今までどこにも出したことのない門外不出の資料もあるようですが、それらをお借りできる旨のご返事もいただいております。このように前田家からも力強いご援助もいただけるようです。このようなご好意に報いるためにも、是非、この事業を成功させたいものです。皆様方のご協力をお願いいたします。

次回の予定

次回 (6 月 12 日) は、川崎吉充氏の研究発表「龍馬一族の北海道移住」と濱埜静子氏の研究発表「手稲の養蚕をたずねて」を予定しております。

会場は、視聴覚室です。

● 懇親会

地域振興課まちづくり推進係長 榊原直志氏挨拶



こんばんは。この度は、お招きいただきましてありがとうございます。

区長・部長がご招待をいただいておりますが、区長・部長は別の行事とぶつかっております、そちらの方にてしております。本来であれば、その代理としまして、市民部地域振興課長が出席するはずでございますが、別な会議室で行われている総会に出ておまして、申し訳ありませんが、私一人参加させていただいた次第でございます。

まずは、お礼を申し上げたいと思います。今まで、郷土史研究会様には手稲区ガイド・歴史の案内板・歴史年表編集などいろいろな場面で、われわれの仕事をサポートしていただいております。今年度においては、昨日茂内会長から東宮駐輦記念碑に関する対応について要請をいただいたところでして、市民部長以下、それへの対応につきまして指示を受けたところです。この件につきましては、茂内会長と調整をさせていただきたい出来る限りの対応をさせていただくつもりでございますので、よろしくお願いいたします。

手稲区連合町内会連絡協議会会長 今枝健氏挨拶

皆さん、おばんでございます。

ただ今、ご指名いただきました、手稲区連合町内会連絡協議会の今枝でございます。本日、平成 24 年度の定期総会・懇親会にお招きいただきましてありがとうございます。

ようやく、雪の季節が終わったと思ったのですが、もう少し寒い日が続くようでございます。私たち雪国に住む者としては、やはり白から緑と自然の色が変わっていく春の季節が一番生き生きとするのではないのでしょうか。桜の開花は、昨年 4 月の 16 日だったと思うのですが、今年は 5 月 10 日頃になると言われております。

手稲郷土史研究会が平成 17 年の 9 月創立以来 50 名以上の会員を擁する団体が活発に動き出したことに、私としましても嬉しい限りです。ということは先ほど、榊原係長が申しましたように、手稲の歴史に残る大正天皇の行啓記念碑が、あわや捨てられるところを茂内会長ほか皆様方が再建等にいろいろと活動されております。

今後は皆様方の専門的知識経験等を活かしながら手稲区の様々な活動の場を舞台に、区民・各団体と団体が相互のつながり連携を進めるところに、大きな夢であるところの手稲区郷土資料館にすこしづつ近づいていくのではないかと私は思っております。その点、区連協としても出来る限りの協力をお約束し、郷土史研究会のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

＝ ◆ ＝ ◇ ＝ ◆ ＝ ◇ ＝ ◆ ＝ ◇ ＝ ◆ ＝ ◇ ＝

お悔やみ

当会の会員として長年ご活躍いただきました明井久嘉氏（82）が、5月3日に逝去されました。会のためにご尽力いただいたことに感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

